

ディープラーニング発表課題

ライブラリを使用しないディープラーニングの仕組みの解説

【テーマ】

以下のうちいずれか 1 つを選択

- ・バックプロパゲーションの仕組み
- ・畳み込みニューラルネットワークの概要と仕組み
- ・ディープラーニング全体のソースコードと仕組み

【要件 1】

- ・プログラミング学習中の高校生向けのプレゼンテーションを想定すること。
- ・発表資料を用意する（形式は問わない）。
ただし、グラフ、図、映像などを活用し、極力わかりやすく発表を行うこと。
- ・発表用のソースコードを用意し、そのソースコードの説明を発表内で行うこと。
発表用ソースコードはテキスト内、授業で使ったものを使用してよい。
- ・発表資料は就職活動で活用できるように作成する。
- ・テキスト以外の内容から発表内容を引用した場合は、資料の出展元を発表資料内に記載すること。
- ・発表時間は一人 5 分以上、8 分以内。

【要件 2】

全てのテーマ共通で以下について言及すること。

- ・ディープラーニングの社会実装例
- ・なぜディープラーニングの実装で Numpy を活用するのか、Numpy とは何か。
- ・バックプロパゲーション
- ・活性化関数
- ・損失関数

【採点ポイント】

- ・発表態度が適切である（声の大きさ、説明の口調、聴講者を意識しているか）。
- ・テーマ内容について、過不足なくわかりやすく説明がされている。
- ・発表資料が適切に用意されており、説明の補足として機能している。
- ・出典元となった参考文献や URL が資料内に明記されている。
- ・発表の持ち時間一人 5 分以上、8 分以内が守られている。

【発表日】

5 月 19 日（木）

※当日発表に対し、クラス内投票を行います